

取扱：本資料の配布を持って解禁とする

## 平成27年度千曲川河川事務所事業の概要について

平成26年1月に策定された「信濃川水系河川整備計画」に基づき、千曲川及び犀川において平成27年度に以下の事業を実施します。

### (事業のポイント)

#### 1 河川改修関係

平成18年7月出水規模の洪水を安全に流下させるため、戸狩<sup>とがり</sup>狭窄部区間の河道掘削、弱小堤区間の堤防整備を実施します。

- ・狭窄部区間：戸狩<sup>とがり</sup>狭窄部 河道掘削
- ・弱小堤区間：長野市 屋島<sup>やしま</sup>地区 堤防整備  
須坂市 福島<sup>ふくしま</sup>地区 堤防整備  
安曇野市 荻原<sup>おぎわら</sup>地区 堤防整備

#### 2 河川維持修繕関係

千曲川及び犀川・梓川の河川管理施設等の点検・維持管理及び修繕を行います。

#### 3 河川環境整備関係

千曲川中流域（犀川合流点から上流の千曲川本川）において、砂礫河原の保全・再生を実施します。

#### 4 ダム事業関係

既設ダムを有効活用し、治水機能の向上及びその機能維持を図る「大町ダム等再編事業」について、新たに実施計画調査に着手します。

#### 【 問い合わせ先 】

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

副所長(技術) 長谷川 賢市

調査課長 西出 保

電話 026-227-7611 (代表)

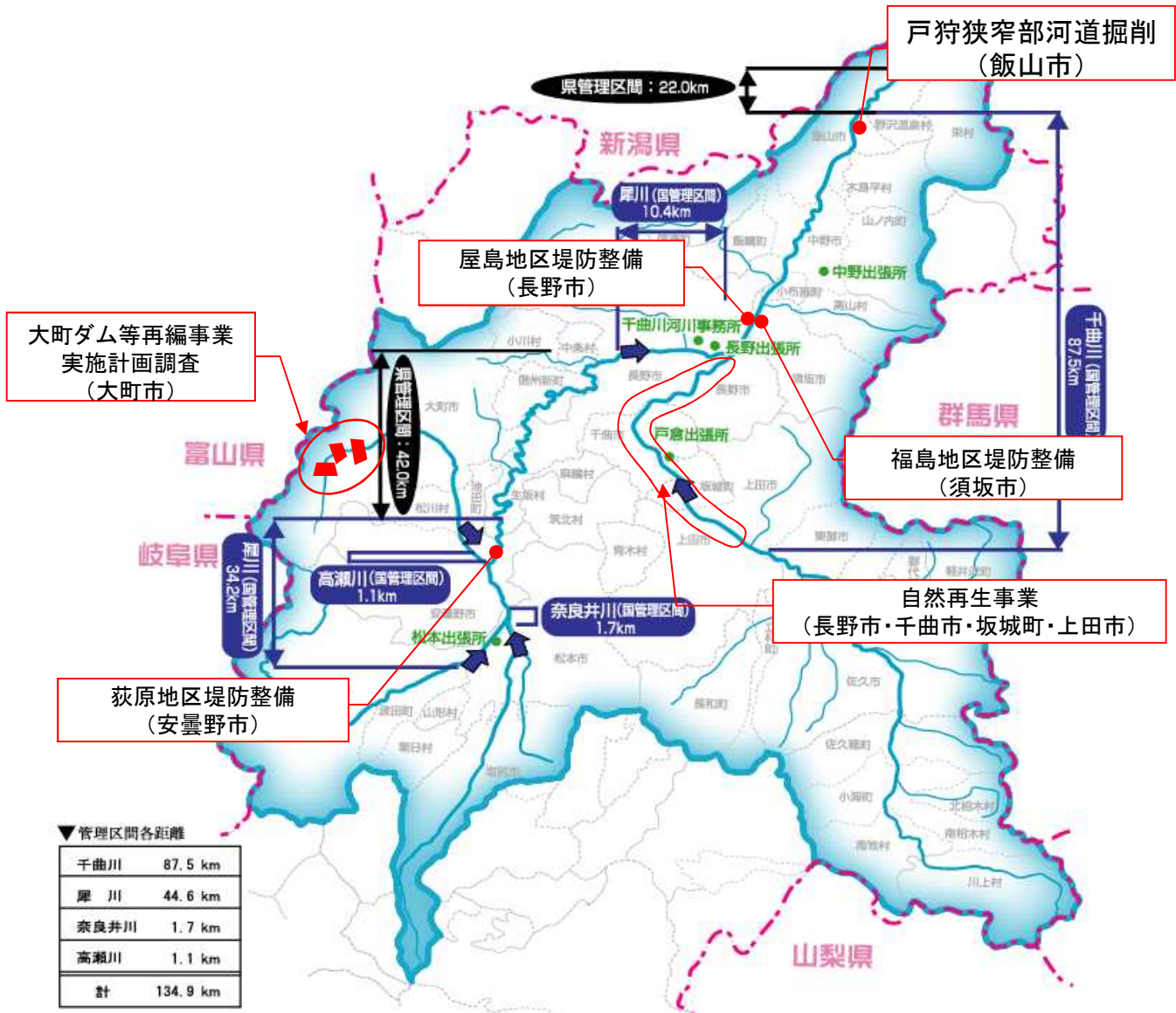
<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

# 1 千曲川河川事務所の事業方針

千曲川・犀川は地域の大切な宝であることを常に意識し、治水安全度の低さや豊かな河川環境、川に対するふるさとの想いを念頭に置き、地域と連携しながら以下の方針で事業を進めます。

- ◆人々の生命・財産を災害から守るために全力を尽くす。
- ◆千曲川・犀川の自然環境を大切にし、詩情豊かで潤いのある川づくりを推進する。
- ◆河川の整備と管理を通じ、活力ある地域づくりの実現に貢献する。

# 2 平成27年度 実施予定箇所 位置図



# 千曲川 戸狩狭窄区間の改修推進

ちくまがわ とがり  
ながの いいやま  
長野県飯山市(戸狩地区)

## 事業の概要

千曲川の立ヶ花狭窄部下流は無堤地区が存在し、昭和57年、58年と連続した大出水や、近年出水の平成16年、平成18年7月出水において浸水被害や堤防からの漏水が発生しており、無堤地区の浸水被害防止や漏水箇所の解消を図るため、洪水で堰上げが発生する狭窄区間の改修を進めています。

## 整備効果

狭窄区間の改修を推進することで、洪水による堰上げの影響を緩和し、平成16年10月出水及び平成18年7月出水で浸水した浸水地区の解消や堤防漏水箇所の解消を図ります。

## 平成27年度の事業内容

飯山市戸狩地区において、河道掘削及び護岸整備を推進します。



ちくまがわ  
千曲川

やしま  
ながの  
屋島地区  
ながの  
長野県長野市(屋島地区)  
暫定堤区間の改修推進

### 事業の概要

千曲川左岸屋島地区(村山(むらやま)橋～屋島(やしま)橋上流)の堤防は、高さ及び断面が不足する暫定区間であり洪水を安全に流下させる能力が不足しています。

万が一、越水や破堤が生じた場合には長野市街地への甚大な被害の発生が予想されるため、計画的に堤防整備を行い治水安全度の向上を図ります。

### 整備効果

堤防を整備することにより、流下能力及び浸透に対する安全度の向上を図ります。

### 平成27年度の事業内容

長野市屋島地区において、暫定堤区間の改修を推進します。



ちくまがわ  
千曲川

ふくしま  
福島地区  
ながの  
すざか  
長野県須坂市(福島地区)  
暫定堤区間の改修推進

### 事業の概要

千曲川右岸福島地区（村山(むらやま)橋～屋島(やしま)橋上流）の堤防は、高さ及び断面が不足する暫定区間であり、洪水を安全に流下させる能力が不足しています。

万が一、越水や破堤が生じた場合には須坂市街地への甚大な被害の発生が予想されるため、計画的に堤防整備を行い治水安全度の向上を図ります。

### 整備効果

堤防を整備することにより、流下能力及び浸透に対する安全度の向上を図ります。

### 平成27年度の事業内容

須坂市福島地区において、暫定堤区間の改修を推進します。



ちくまがわ  
千曲川

おぎわら  
荻原地区  
ながの あつみの  
長野県安曇野市(荻原地区)

# 荻原地区暫定堤区間の改修推進

## 事業の概要

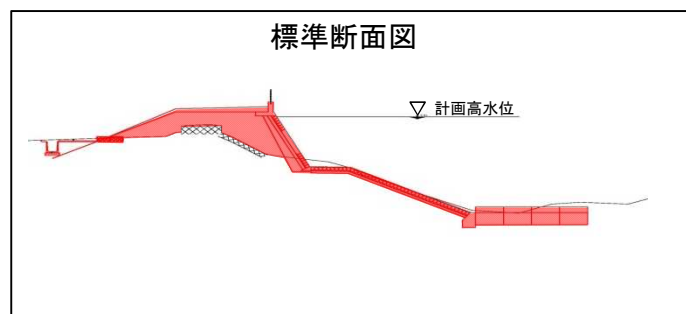
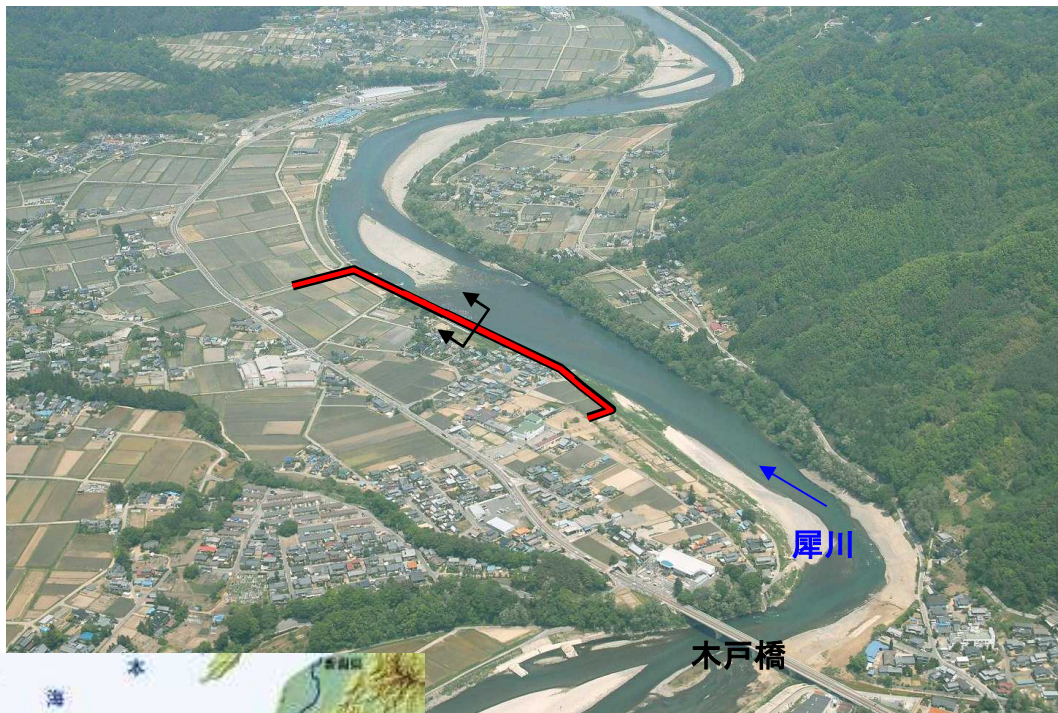
犀川では暫定堤区間が多く残っていますが、特に荻原(おぎわら)地区では平成18年7月出水に上流ダム群の特例操作により水位低下が図られなければ浸水の可能性があった地区であり、早急な堤防整備が必要な箇所です。当該地区では、平成18年7月出水の再度災害防止の観点から、背後に住宅地を抱える区間の堤防整備を実施し、治水安全度の早期向上を図ります。

## 整備効果

連続堤方式を部分的に完成堤化することにより、浸水被害軽減を早期に図ります。

## 平成27年度の事業内容

安曇野市荻原地区において、暫定堤区間において堤防の改修を推進します。



# 千曲川 自然再生事業の推進（戸倉地区）

## 長野県長野市、千曲市、坂城町、上田市

### 事業の概要

千曲川では、砂利採取等による河床低下によって低水路と高水敷の高低差が拡大し、礫河原および湿性植物群落が増減する反面、アレチウリ、ハリエンジュ等の外来種が侵入・拡大し、もともと千曲川に生息する在来種の生息環境が減少・悪化しています。本事業は河道掘削を進めることで礫河原および湿性植物群落の再生と流下能力の向上を図ります。

### 整備効果

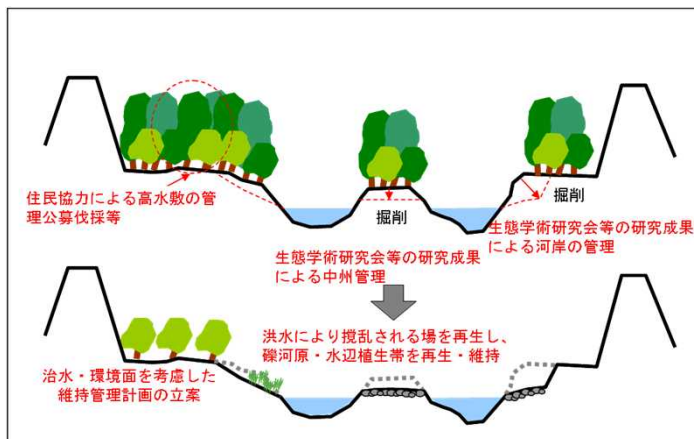
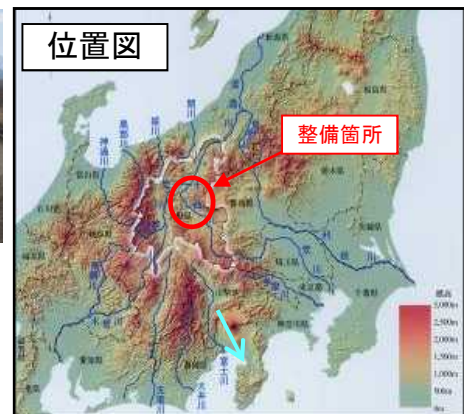
礫河原礫河原および湿性植物群落の再生を進めることで、河川特有の多様な生息地が形成されるほか、アレチウリ等の外来種の繁茂が抑制され、生物の多様性が増大します。

### 平成27年度の事業内容

戸倉地区において、礫河原の再生（河道掘削）及びモニタリング調査を推進します。



平成26年度自然再生事業により砂礫河原が再生した箇所（千曲市戸倉地先）



冠水頻度を高める河道掘削のイメージ

おおま  
**大町ダム等再編事業に着手**  
 ながのおおまちなしのたかせ  
**長野県大町市(信濃川水系高瀬川)**

**事業の概要**

本事業は、平成16年、同18年と大規模な洪水により浸水被害が発生している千曲川の治水対策のため、高瀬川の既設ダムの容量を活用し、洪水調節機能を強化するものであり、平成27年度から実施計画調査に着手するものです。

具体的な事業内容としては、既設の高瀬ダム・七倉ダム（発電専用ダム）の発電容量の一部と、大町ダム（多目的ダム）の水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保することにより、下流の洪水流量をさらに減少させるものです。

また、高瀬ダム・七倉ダムへの洪水調節機能の追加にあわせて、長期に安定的にダムの機能が確保されるよう、流入土砂対策を行うことも検討しています。

- 目的 ・洪水調節（犀川、千曲川、信濃川の洪水防御）
- 概要 ・既設ダムを活かした洪水調節機能の確保  
 （既設ダムの容量振り替え、土砂搬出施設の整備）

**平成27年度の事業内容**

施設概略検討、環境調査等を実施する予定です。



高瀬ダム(発電)  
 (昭和54年度完成)



大町ダム(直轄)  
 (昭和60年度完成)



七倉ダム(発電)  
 (昭和54年度完成)

